

現代邦楽作品展 vol. 3

「日本音楽集団」を代表する二人の作曲家の独奏曲と二重奏曲を中心に

「現代邦楽」という言葉が世間に出てきたのは昭和35年（1960年）頃とされています。邦楽界においても高度な技術を必要とされる純粋器楽曲が発展し、また洋楽系作曲家とのつながりが出来る事により今までにない様式の音楽も生み出されて来ました。今回は現代邦楽隆盛に大きく貢献した邦楽グループ「日本音楽集団」の作曲家にスポットを当て、演奏家との協力によって開発された20絃箏などの現代邦楽の名曲を解説を交えながらお聴き頂きます。

【日時】 2011年2月22日（火）午後7時開演（午後6時30分開場）

【場所】 京都芸術センター 大広間

【料金】 前売り2,000円（当日2,500円）*中学生以下無料

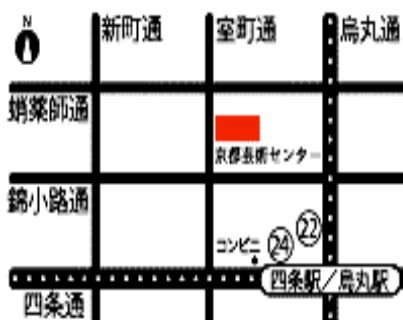
【演奏者】 中川佳代子（13絃箏、17絃箏、20絃箏） 阪口夕山（尺八） 藤田武士（声楽）

【チケット問合せ】 電話&FAX 075-394-5012 E-MAIL kayoko_kotokoto@ybb.ne.jp（中川）

【プログラム】

萌春	（昭和46年作曲）長沢勝俊作曲
尺八独奏のための「詩曲」	（昭和44年作曲）長沢勝俊作曲
四つの前奏曲～十七絃による～	（昭和46年作曲）長沢勝俊作曲
箏譚詩集Ⅱより「華やぎ」	（昭和51年作曲）三木 稔作曲
歌楽<ペロ出しチョンマ>	（昭和55年作曲）三木 稔作曲 * 一部省略
秋の曲	（昭和55年作曲）三木 稔作曲

<なかかわかよこプロフィール>NHK 邦楽技能者育成会卒業。'94 青山音楽賞受賞。'98 文化庁芸術研修員認定。'02 賢順全国箏曲コンクール最高位「賢順賞」受賞。海外において '07 アジアツアー（文化庁助成公演）'08 モスクワ、サンクトペテルブルグにてソロ公演、韓国晋州国楽交響楽団定期演奏会に20絃ソリストとして招かれるなど公演多数。'05 アメリカにて作曲家アルヴィン・ルシエの録音に参加、日本の作曲家松永通温、清水研作、藤枝守などの現代音楽の演奏も行う



京都芸術センター

1993年(平成5年)に小学校の統廃合のため閉校となった、元明倫小学校の建物を使用。昭和6年に改築された元明倫小学校の歴史や建物の外観、大広間、講堂、和室などの文化財的価値を今も残している。

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2 ☎ (075) 213-1000

地下鉄烏丸線「四条駅」阪急京都線「烏丸駅」22番24番出口より徒歩5分。

【主催】 中川佳代子 箏・三絃研究室 【共催】 京都芸術センター 【後援】 沢井箏曲院 京都三曲協会